

差別

偏見や、不当な基準などをもち、特定の人に対して、不平等なあつかいをすることもあります。差別されると、淋しい気持ちにかられます。最近、テレビ等見ていますと人をけなして笑いを求める傾向があるような感じがします。差別のようにも取れる感覚です。ハンデを持っている場合は、自然とふりかかり伴ってくることで、人によって異なり、考え方や受け止め方がそれぞれ違い、ともに仲良く歩みそれをはかてにして、飛躍すればかえって良いことだと思います。どこの世界でも、差別はつきもの、平等はありえないものというような差別と思われることが残念ながら起きています。出来るものなら差別のない心で相手の身になり、温かい心で情けを持って接すれば、心穏やかに過ごすことが、出来ると思います。

東秩父村身体障害者福祉会長
山崎 良一



我が家のニューフェイス



平野 夏輝くん
なつき

生年月日 平成27年5月19日
(大字安戸)

お父さん：照 幸 さん
お母さん：由紀江 さん

はじめまして！なつきだよ。
はやく歩けるようになって、パパとママといろんなところに行きたいな！
ぼくを見かけたら、みんな一緒に遊んでね（^o^）

東秩父村からのお知らせ
広報はいきいき男女を応援します！
《東秩父村男女共同参画プラン》
一東秩父村では、男女がともに参画できる社会をつくる等を定めた「東秩父村男女共同参画プラン」の推進をしていますー

この度、人口の減少による出生率の低下から「我が家のニューフェイス」を毎月掲載することが困難となりました。

そこで「我が家のニューフェイス」を隔月とし、休刊号には「いきいき男女を応援プロジェクト！（仮）」を掲載します。

（平成28年7月号より開始）

については、社会進出をしている女性やイクメン/パパなど、男女共同の社会で「いきいき」生活している方の体験談を募集します。

「顔写真はちょっと…」や「匿名なら…」などでもご相談いただければ対応します。まずは、お気軽にお問合せください！

問合せ 総務課 広報担当
☎ 82-1226

東秩父を全力応援

地域おこし協力隊通信



4月9日（土）に春の白石地区を巡る「おさんぽハイク」を開催しました！

暖かな陽気の中、東京や横浜などから参加された19名と東秩父村を満喫しました。

紙漉き体験の後、旧白石分校からあじさいの道を通って白石キャンプ場まで約1時間半の道のりを住民の方に案内してもらいながら巡りました。お昼は流しそうめんと村ならではのごちそうをご用意いただき、肉厚のシイタケやシシ肉焼きを食べたり、普段できない体験に皆さん大興奮だったようです。

参加者からは「地域の方のガイド、食事の接待があたたかく楽しい思い出になりました」「とても楽しく、村の方も明るく楽しいばかりで、日常では得られない経験をさせていただきました。私も将来この村で暮らしてこの村で子どもを育ててみたいと思いました」という嬉しい感想をいただきました。

東秩父村の日常の暮らしを感じながら、「人という魅力」を存分に楽しんでいただけたのだと思います。

ご協力いただいた白石の方々、本当にありがとうございました。

今後も地域の魅力を活かしたイベントを実施していきます。お楽しみに！



桃源郷のような景色が広がる春の白石 白石キャンプ場での集合写真